

組織評価の改善状況報告書

平成 26 年 3 月 28 日

評価会議議長 殿

キャンパスミュージアム運営委員会委員長
塚 越 哲

組織評価に関する実施要項第10に基づき、組織評価（自己評価及び外部評価）結果に係る要改善事項について、次のとおり平成25年度の改善状況を報告します。

要改善事項
運営組織の改善について（運営の効率化を図り、専任教員の確保に向けて十分な活動実績を作る）。
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
これまでキャンパスミュージアム運営委員会は、全学学部から選出された委員とキャンパスミュージアム・ワーキンググループ（WG）より1名で構成されていた。これに対し、実際の運営主体がWGであることを踏まえ、キャンパスミュージアム運営委員会に第2号委員としてWGのメンバーを追加する等の措置をとる。 ミュージアム活動の実績を作って可視化し、全学的視野から専任教員の配置ができる組織づくりを検討する。
改善状況
平成25年度より運営委員会の組織は大幅に改められ、少なくとも3名のWGメンバーが、運営委員を兼ねることとなり、同委員会でもより実質的な議論が可能になった。
達成年度（予定を含む）
平成25年度

要改善事項
ミュージアムの管理運営について（通常開館時の来場者の増加をはかる）。
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
ミュージアムの受付等の体制を改善する。たとえば受付担当の学生が今よりも効率的・組織的に活動できるように検討する。
改善状況

受付の学生用に受付対応マニュアルを作成し、対応がスムーズに行えるようにした。また、これまで受付業務はその都度異なる学生に謝金を支払い依頼していたが、担当学生のスキルを育成し、安定した受付体制の確保とともに、謝金支給手続きに係る不適切な経理防止のため、平成25年11月から学生をパート職員として雇用化し、半期の間同じ学生が受付を担当するようにした。

結果として、平成25年度は通常開館中518人の来場者があり、来場者が例年に比べやや増加した（23年度417人、24年度284人）。

達成年度（予定を含む）

平成25年度